

ハコフグと みなまたの海

自分に自信が持てないハコフグと
みなまたの海からやってきた
迷子のヒメタツの冒険ストーリー



©ROBOT

入場
無料

申込不要



日時

令和7年8月17日(日)

ハコフグとみなまたの海

PM1:30~PM1:50

阿賀に生きる

PM2:00~PM4:00

会場

新潟市民プラザ

新潟市中央区西堀通6-866

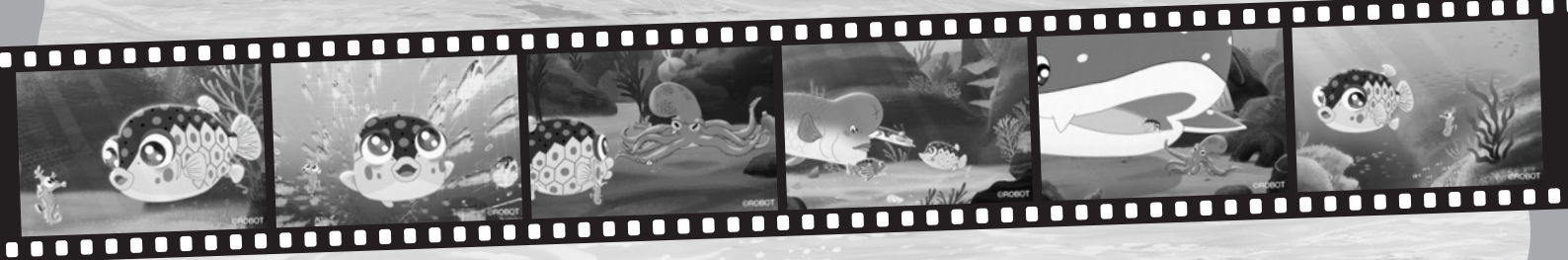
NEXT21 6階

新潟水俣病
公式確認
60年事業

新潟水俣病が公式確認されてから
今年で60年が経過しました。
この節目を機に、水俣病に関連した
映像作品の上映会を開催します。
新潟では初上映の作品もあります。
ぜひご来場ください。

阿賀に生きる

豊かな暮らしとは何か——その答えがここにある



ハコフグとみなまたの海

こん海は、命の生まれる豊かな海で、
むかーしから言われとっとなーい…

『ハコフグとみなまたの海』はさかなクンの絵本『ハコフグのねがい』（講談社刊）を原作とした短編アニメーションです。生き物の多様性や自己肯定、環境問題をテーマに、美しい映像と壮大な音楽、豪華キャストで描き、見る人に感動と勇気を与えます。こちらの作品は新潟での上映会は初となります。

ハコフグは自分に自信を持てずに、いつもひとり岩場で他の魚を眺めては羨ましがってばかり。「みんなはいいなあ。ボクは毎日この岩場で同じところをプカプカ行ったり来たりするだけ…」

そんなある日、みなまたの海からやってきたという迷子のヒメタツと出会い、ヒメタツをみなまたの海に送り届けるために、はじめての冒険に出ることに…

阿賀に生きる

国内外のドキュメンタリー映画各賞を
総なめした映画史に残る傑作

『阿賀に生きる』はドキュメンタリー映画作家、佐藤真の初監督作品です。映画館でドキュメンタリー映画が上映されることがなかった時代、異例ともいえるロードショー公開がなされ、名だたるドキュメンタリー映画祭で最高賞を次々獲得。

新潟水俣病という社会的なテーマを根底に据えながらも、そこからはみ出す人間の命の賛歌をまるごと収め、世界中に大きな感動を与えました。

新潟県の大河である阿賀野川。監督を始めとする7人のスタッフがその川筋に住み込み、そこに暮らす人々を3年間にわたって撮影を行いました。主役である3組の老夫婦を中心に、人々の生きる喜びにあふれた豊かな暮らしを映し撮りました。



新潟市民プラザ

新潟市中央区西堀通6-866 NEXT21 6階

●最寄りバス停「古町」より徒歩1分

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください

問合せ
新潟市保健衛生部保健衛生総務課
新潟水俣病健康福祉係
新潟市中央区紫竹山3-3-11
TEL:025-212-8016(直通)
mail:hokeneisei@city.niigata.lg.jp

